



すわべ たかし  
**諏訪部 孝敏**  
(育成)

### インクルーシブ教育について

**問** インクルーシブ教育の取組の現状と課題について伺う。

**教育長** 共生社会の実現に向け、学校教育におけるインクルーシブ教育システムの構築は重要であると考えている。子ども一人一人の多様な教育的ニーズに対応するための支援者を十分確保すること、また多様性を受入れ、認め合う学級づくりや地域社会づくりについて、しっかり考えて行きたい。

### AED設置について

**問** 夜間や休日等により迅速に対応するために、身近なコンビニエンスストア等への設置を提案するが見解を伺う。

**部長** コンビニエンスストアは24時間対応ができる場所が多いということで、いざという場

面に備えることにより効果は高いと考える。市が民間施設に設置するという視点で考えると、費用面、消耗品の交換や点検などの継続的な管理の問題に加え、店員などの普通救命講習の受講などへの店舗の協力のほか、多業種との兼ね合いなどがあり、設置は難しい。

### 新たな局面における新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが落ちている中、原材料や燃料費の高騰に伴う経費や仕入れ額の増加により、業者は二重に苦しめられている。緊急的に支援策が必要と考えるが、他市の動向を踏まえて市長の見解を伺う。

**市長** 当市においても幅広い業種において大きな影響を受け、非常に厳しい状況となっていることは理解している。事業者の減収には様々な要因があり、個別相談にて対応が必要であると考えている。国や県の支援を見極めた中で、地域性を配慮し、市独自の支援事業を行う。



ほそざわ さとる  
**細沢 覚**  
(育成)

### 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザに同時感染した場合、同時流行した場合について伺う

**問** 児童生徒の新型コロナウイルス予防接種率(年齢別)について。

**部長** 接種者数は、小学校1年生から中学校3年生までの対象者約1万人のうち約4800人で、学年が上がるほど接種率も高くなっている。受験生である中学3年生では、約8割の生徒が2回目まで接種している。

**問** 高齢者の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの予防接種の接種率について。

**部長** コロナワクチンの65歳以上の接種率は、2回目までが95.7%、3回目が92.4%。インフルエンザの予防接種は今年度の最終は60%に達することも予想されるが、医療機関からの実績

報告が月遅れとなることなどから把握できない。同時流行に備え、新型コロナウイルスとインフルエンザの予防接種の啓発を行う。

**問** 同時感染を防ぐ方法について、市民への徹底した周知方法を伺う。

**部長** HP等で、市販の解熱剤、風邪薬、検査キットを家庭に常備し、陽性になった時に備えて、食料品の備蓄及びインフルエンザ・コロナ両ワクチン接種を済ませておくことを周知しているところである。

### 富士宮市全ての活性化について

**問** 富士宮まつりの際に、市内小中学校を休校または代休とすることについて伺う。

**教育長** 富士宮まつりに関わる子どもたちが比較的多い学校では、振替休日になるように教育課程を編成している。一方で学校を休校にすることは、ふだんどおりの仕事や生活ができなくなる家庭に大きな負担がかかるため、現状通り地域や学校の実情に応じて週休日の振替日を設定するのがよいと考える。